

買い物・通院はわくわくワゴンねぎし号で みんなで乗って地域の足を守りましょう



2024年12月から走り始めたワゴンバス「ねぎし号」は、運転免許証を返納したり、自転車に乗れなくなったりした時にお出かけする足として重要な交通手段です。12月からは西友の入り口側にバス停ができ、朝霞郵便局・朝霞市役所まで路線を延長することが予定されています。しかし、乗る人が少ないと廃止になる可能性があります。

みんなで乗って支えましょう！

運賃：大人200円・小児100円 特別乗車証を持っている方は無料
障害者手帳を持っている方 大人100円・小児50円

コース



時刻表



45分間隔で
到着します

本田まきこ 視察報告 福祉の最先端を学び政策の提言力向上を目指します

本田まきこは福祉現場の視察を積極的に行い、政策提言に活かしています。2025年度これまでにに行った視察をご紹介します。

〇8/25 もにす認定企業視察

障害者雇用の優良企業「もにす認定企業」2社を視察しました。障害のある方が力を発揮するために必要な支援、誰もが働きやすい職場づくりを学びました。

〇10/2国立障害者リハビリテーションセンター

障害者の支援技術の基礎研究・開発の現場を視察しました(右写真)。研究費の確保や自治体との連携のあり方など意見交換しました。



本田まきこ

1973年生 前職は教育委員会所属のカウンセラー。公認心理師・社会福祉士。民生常任委員会所属。



朝霞市議会議員

本田まきこ

2025年秋号 つながる通信

立憲民主党

ほんだまきこところをつなぐ会
〒351-0006 朝霞市根岸台7-41-27 コートエスパランス202

☎ 080-7142-1003

✉ info@hondamakiko.com

2024年度の朝霞市の仕事をチェック 決算認定に反対

2025年第3回定例会では、2024年度朝霞市一般会計決算認定の審査などを通して、2024年度の朝霞市の仕事を振り返りました。毎年、場当たり的な設備工事が多く、見通しを持った事業と財政の計画が必要です。福祉の実務は改善が見られたところもありましたが、障害者を分離せずとともに生きる「インクルーシブ」なまちづくりが遅れている結果、障害福祉サービスの給付費が伸びています。中学校教員による暴力・性加害事件への対応も不十分であり、決算認定には反対しました。

一般会計補正予算に修正案提案 議論を尽くす議会に

2025年度一般会計補正予算案で、朝霞台駅南口ぎょうぎの満州前の道路に時間帯によって駐輪ラックを置き、歩行者専用にする実証実験を行う予算1,750万円が提案されました。東武鉄道が朝霞台駅の駅ビル開発を行うと言われており、その計画との関係や、朝霞台駅周辺の最終的な姿がわからないままで、事業の頭出しをすることは適切でないとして、市議会会派立憲・歩みの会でこの部分を削減する修正案を提案しました。賛成少数で否決となりました。

この第3回定例会では、複数の議員から、他の議員の発言を制止する発言がありました。議員の大きな仕事は、議会で市民の声を代弁し、税金の使い道や事業のあり方を決めることです。議会が議論することを避けていては、十分に役割を果たすことができません。これからも、立憲・歩みの会と本田まきこは、議案に対する質疑や討論、修正案ほか議案提案などを通して、議会が市民のための議論を尽くすように取り組みます。

